

令和8年度学力向上推進計画

和歌山県教育委員会義務教育課

「自身の考えをもち、自らの言葉で表現できるこども」をめざして

「わかったつもり」から
「説明できる」へ！



現状と課題

●児童生徒に寄り添う指導や支援が実践されてきているものの、学校全体として教育課程の編成、実施、評価、改善を図るPDCAサイクルの確立が積極的になされていない。

●教員の大量退職や学校の小規模化などの影響により、教員同士が知識や経験を共有する機会が減少し、教材研究や指導方法を継続的に学べない状況が生じている。

→意図的、計画的な教育課程の編成や、学習指導の工夫、改善を進める必要がある。

【指標(2)①、②】

●課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う児童生徒の割合が全国に比べて低い。

→児童生徒がこれまでの学びを生かしながら、進んで活動できる授業づくりを進める必要がある。

【指標(3)①、②】

●授業時間以外に、全く勉強をしない児童生徒の割合が全国に比べて高い。

→学習習慣の定着のための取組が求められる。

【指標(3)③】

取組

1 「チーム学校」としての組織力向上

→【別紙】具体的な取組

- 「スクールプラン」等を活用した学校経営の促進
- 管理職を対象とした研修会の実施
- 義務教育9年間を見通した計画的、継続的な学習指導の促進

2 学び続ける教員の育成

- 授業力向上に向けた研修会の実施
 - (1) 「探究的な学び」充実に係る研修会
 - (2) 中学校社会科教員研修
 - (3) 中学校理科教員研修
 - (4) 中学校英語教員研修
- 学校の取組等を支援する「きのくに学力定着フォローアップ事業」の実施
- 教員の授業力向上に向けた教科等研究団体の研究支援の実施

3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- 「こどもが主役である授業」の実現や授業力向上をめざす学校の取組の指導、支援
- 学校図書館の活用の促進

4 学習習慣、学力定着のための基盤づくり

- 県提供教材による補充学習の充実と家庭学習の習慣化の促進
 - (1) MEXCBTでの問題配信
 - (2) HP等での資料提供
- 県学習到達度調査(小学校)の実施による学力定着度の把握・分析
- 読書を楽しむ習慣づくりの推進

全体に係る取組

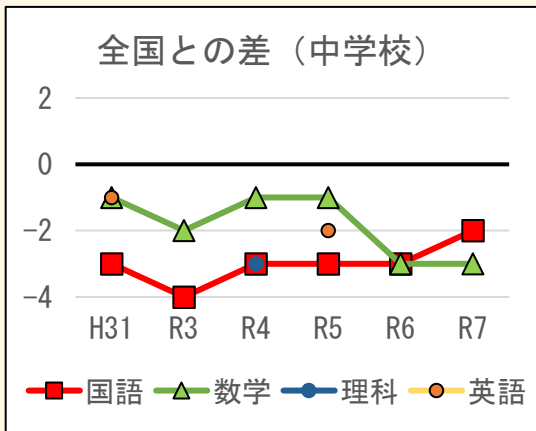
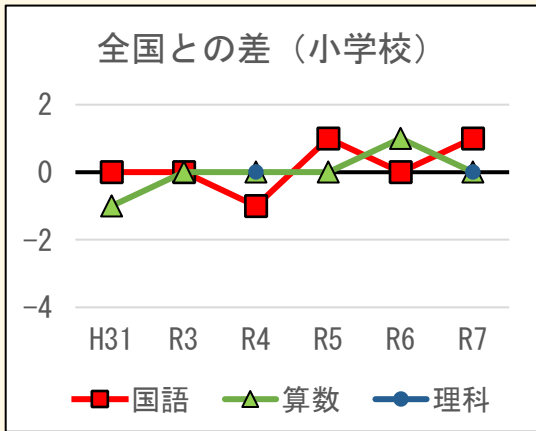
- ・きいtubeで発信事業
- ・わかやまスクールパワーアップ事業
- ・学校アドバイザー派遣事業

詳しくは
義務教育課
ホームページへ

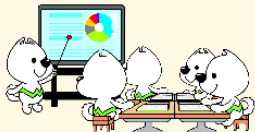


<https://www.pref.wakayama.lg.jp/kyouiku/soshiki/501100/index.html>

(1)教科に関する調査結果で、全ての教科の県平均正答率(平均IRTスコア)が全国平均以上になる。

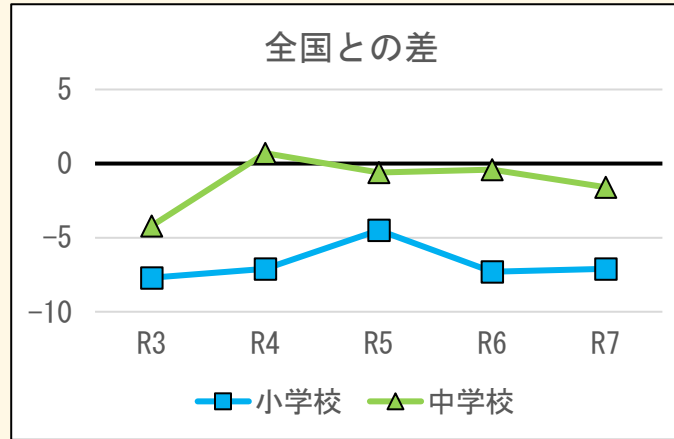


※R7理科は、平均IRTスコアで結果が示されるようになったため、グラフには表示していない。(全国平均-23)

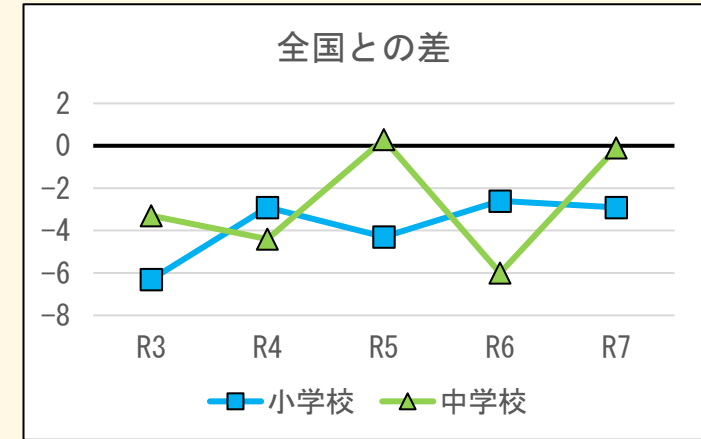


(2)次の学校質問調査結果が、全国の割合と同程度になる。

①児童生徒の姿や各種データなどに基つき、教育課程の編成、実施、評価、改善を図るPDCAサイクルを確立している学校の割合

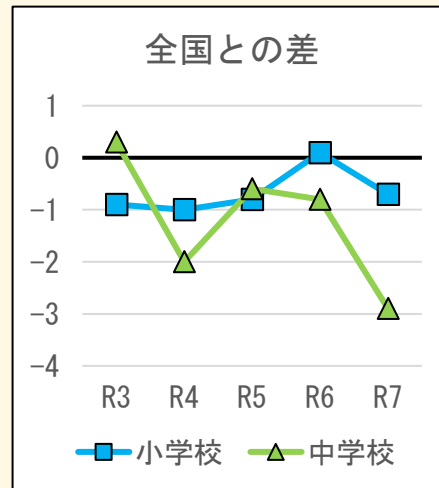


②前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした学校の割合

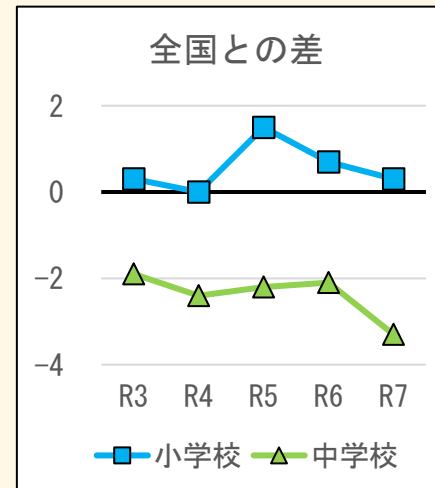


(3)次の児童生徒質問調査結果が、全国の割合と同程度になる。

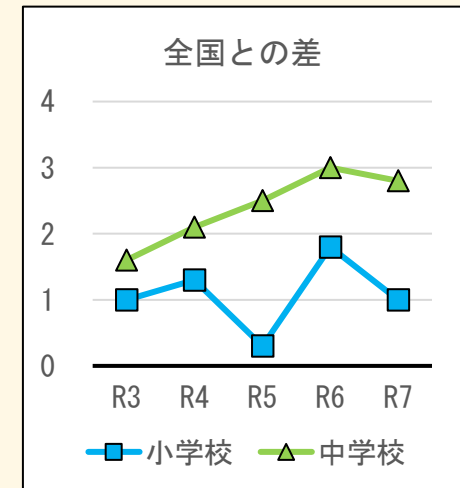
①課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う児童生徒の割合



②授業の発表で、考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫した児童生徒の割合



③月～金曜の授業時間以外に、全く勉強をしない児童生徒の割合



令和8年度 学力向上推進に係る主な取組

和歌山県教育委員会 義務教育課



4月

- 全国学力・学習状況調査 【調査基準日:4月23日(木)】
※中学校英語「聞くこと」「書くこと」「読むこと」:4月20日～23日のうち1日
「話すこと」:4月24日～5月29日のうち1日
<対象学年・教科> 小6 国語、算数 中3 国語、数学、英語(CBT)
<出題範囲> 前学年までに含まれる指導事項

5月

6月



- 評価テスト問題の配信
【7月～ MEXCBTに搭載】

7月

8月

- 学力向上推進に係る市町村担当者等会議【8月 オンライン(予定)】
<対象> 市町村教育委員会指導事務担当者

9月

10月

- 県学習到達度調査(小学校)【10月14日(水)、15(木) MEXCBTで実施】
<対象学年:教科> 小4、小5:国語、算数、理科 ※理科は小5のみ
<出題範囲> 当該学年9月末までの学習内容

11月

12月

- 全国学力・学習状況調査サンプル問題の配信【(時期未定)】

<対象学年:教科>
小5:国語、算数
中2:国語、数学



<対象学年:教科>
小4:国語、算数
小5、小6:国語、算数、理科
中1、中2:国語、数学、理科



1月

2月

3月

- 「探究的な学び」充実に係る研修会①
【6月 オンデマンド】
<対象>
中・義務教育学校(後期課程) 研究主任 各校1名

- 中学校理科教員研修
【紀北:6月29日(月)、紀南:6月30日(火)】
<対象> 理科担当教員 各校1名

- 中学校英語教員研修
【紀北:9月30日(水)、紀南:10月7日(水)】
<対象> 英語担当教員 各校1名

- 中学校社会科教員研修
【紀北:10月23日(金)、紀南:10月29日(木)】
<対象> 社会科担当教員 各校1名

- 「探究的な学び」充実に係る研修会②
【紀北:1月21日(木)、紀南:1月20日(水)】
<対象>
中・義務教育学校(後期課程) 研究主任 各校1名

- 令和8年度学校マネジメントに係る研修会
【(時期未定) オンライン】
<対象> 小・中・義務教育学校 校長

※このほか、
「きいtubeで発信事業」
「わかやまスクールパワーアップ事業」
「学校アドバイザー派遣事業」等を実施します。

1 「チーム学校」としての組織力向上

- 「スクールプラン」等を活用した学校経営の促進
さまざまな調査結果やデータに基づいた「スクールプラン」、「学力向上推進プラン」等の作成や、目標の実現に向けた取組を指導、支援する。
- 管理職を対象とした研修会の実施
各校の現状や課題に応じて、教育課程の編成や学習指導の改善、充実に向けた組織的な取組を進められるよう指導、支援する。
- 義務教育9年間を見通した計画的、継続的な学習指導の促進
各中学校区において、学習指導や教科の系統性についての相互理解を深めるとともに、相互の授業参観等に取り組むよう指導、支援する。

2 学び続ける教員の育成

- 授業力向上に向けた研修会の実施
最新の教育動向を踏まえ、本県の教育課題の解決をめざした研修会を実施することで、教員自身の学びを支えるとともに、教員の授業力を高める。
(1)「探究的な学び」充実に係る研修会:①6月(オンデマンド)
②1月21日(紀北)、1月20日(紀南)
(2)中学校社会科教員研修 :10月23日(紀北)、29日(紀南)
(3)中学校理科教員研修 : 6月29日(紀北)、30日(紀南)
(4)中学校英語教員研修 : 9月30日(紀北)、10月7日(紀南)
- 学校の取組等を支援する「きのくに学力定着フォローアップ事業」の実施
優れた教育実践力をもつ退職教員を小中学校に派遣し、教員の指導力向上や授業改善など、学校全体の学力向上の取組を支援する。
- 教員の授業力向上に向けた教科等研究団体の研究支援の実施
県内各地域の教員が自主的に集まる教科等研究団体に対し、研修会等の取組を充実させるための支援を行う。

全体に係る取組

・きいtubeで発信事業
児童生徒自らが、総合的な学習・探究の時間等の取組や発表など、各学校の取組を紹介することを通して、県内全域の探究的な学びに係る実践力の向上を図る。

3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- 「こどもが主役である授業」の実現や授業力向上をめざす学校の取組の指導、支援
県と市町村の指導主事が連携を図り、学校訪問等を通じて、「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の活用を徹底するとともに、「こどもが主役である授業」の実現、授業力向上をめざした学校の取組を計画的に指導、支援する。
- 学校図書館の活用の促進
学校図書館を児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動の場として活用できる環境に整えるよう指導、支援する。

4 学習習慣、学力定着のための基盤づくり



- 県提供教材による補充学習の充実と家庭学習の習慣化の促進
(1)MEXCBTでの問題配信
過去の学力調査等で課題のあった問題を中心に、授業や補充学習、家庭学習に活用できる「評価テスト問題」を、文部科学省CBTシステム(MEXCBT)に搭載する。
(2)HP等での資料提供
「チャレンジ!漢字の博士試験」サイトを公開するとともに、チャレンジ確認シート(web版)やマスター問題集等をHPに掲載する。
- 県学習到達度調査(小学校)の実施による学力定着度の把握・分析
当該学年までに学習した基礎的、基本的な学力の定着状況を把握し、授業改善や個に応じた指導に生かすよう、指導、支援する
【MEXCBTを使用したCBT方式で実施】10月14日(小4)、15日(小5)
- 読書を楽しむ習慣づくりの推進
読書習慣の定着や読書に親しむ機会の充実を図るため、学校図書館の活用を推進する。

・わかやまスクールパワーアップ事業
児童生徒の主体的な取組等に要する費用の一部を補助する。
・学校アドバイザー派遣事業
外部人材を学校に派遣し、学校の課題解決や教育目標の達成につなげる。